

仙台市の教育の情報化全般に関する令和4年度の取組状況 及び令和5年度の取組の方向性について

仙台市GIGAスクールの方向性より

「 SENDAI GIGA STEP 2 児童生徒が、ICTを「当たり前・日常的」に活用（令和4年度～）」

- ① 【学校】 端末、クラウドの日常利用化（授業と家庭学習等の連携） ※学びの保障
- ② 【学校】 情報活用能力を発揮しながら、豊かな創造性を育むための「探究的な学び」の推進
- ③ 【学校】 自らの学びをより良くするための「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ④ 【学校】 情報活用能力を系統的に育成するための、カリキュラム・マネジメントの推進
- ⑤ 【学校】 プログラミング教育・STEAM教育・情報モラルや情報セキュリティ教育の推進
- ⑥ 【学校】 指導者用・学習者用デジタル教科書の利活用
- ⑦ 【教育委員会】 児童生徒の情報活用能力の実態把握と、学校現場に有用な情報の積極的な発信
- ⑧ 【教育委員会】 デジタル教材等の利活用に関する情報発信・ICT支援員等による学校支援（デジタル教科書、デジタルドリル、みやぎ情報活用ノート、StuDX Style、副教材のデジタル化等）
- ⑨ 【教育委員会】 MEXCBTや学習eポータルを利活用できるための環境整備や情報発信

① 【学校】 端末、クラウドの日常利用化（授業と家庭学習等の連携）

本年度の取組状況

令和5年度の取組の方向性

■端末、クラウドの日常利用化の現状分析と推進 家庭への端末持ち帰り実施状況

	夏休み前	12月
週1回以上実施	25.1%	36.6%
月1回以上実施	23.0%	18.6%
その他	23.0%	39.9%
実施していない	29.0%	4.9%

- ・12月の結果について各学校へ周知。
- ・「実施していない」学校については、今年度中に何らかの方法で実施する方針を確認しており、年度末に再度調査して進捗を確認する予定。

■端末、クラウドの日常利用化の事例紹介

- ・以下の活用例を仙台市GIGAスクールサポートサイトに掲載。

【端末の家庭での活用例】

- ・ Google classroomで学校からの連絡の受け取り
- ・ サイトを活用したタイピングトレーニング
- ・ ロイロノートスクールで配信された課題への取組
- ・ デジタルドリルを活用した家庭学習
- ・ 臨時休校及び学級閉鎖時のGoogle meetビデオ会議システムを活用した学習支援

- ・ 学校と家庭との学びの往還を大事にしていく観点や、学びを止めないという観点から、平常時の端末持ち帰りをさらに積極的に進めていく。

【学校と家庭の学びの往還の推進】

- ・ 教育センターと連携し、授業づくり訪問で収集した好事例を同センターの様々な研修内で発信し、全市への周知を図る。

【デジタルドリルの活用】

- ・ デジタルドリルの効果的な活用について、研修会を実施し、家庭での端末活用の促進を図る。

- ②【学校】情報活用能力を発揮しながら、豊かな創造性を育むための「探究的な学び」の推進
- ③【学校】自らの学びをより良くするための「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

本年度の取組状況

- ・ 仙台市GIGAスクール推進校を中心に市内の小中学校において『「探究的な学び」を深めながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の事例』の実践を行い、その取組事例をまとめ、市内学校に周知したり、仙台市GIGAスクールサポートサイトに掲載したりする予定。

「個別最適な学び（学習の個性化）」授業づくりチェック

生徒主体の授業になっているか？先生がしゃべりすぎているか？
（補足）
 ・ 授業の半分以上は、生徒の学習活動になっているのがのぞましい。

I が設定されているか？
（補足）
 ◎ **【重要】** クラスみんなで、同じ答えを目指すものではない。ただし、クラスの共通のテーマ（ゴール）が設定されていて、そこに迫るための個別の課題を自ら設定している必要がある。
 ・ 小学校では、3人1組等で課題を設定することも考えられる。

図 想定している事例の例

令和5年度の取組の方向性

- ・ 令和5年度の夏頃までに、各校に『「探究的な学び」を深めながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実』に関する研修を行い、各校から事例を収集する。
- ・ 好事例に関しては、積極的に各校に周知する。
- ・ 単元や時数を柔軟に対応し実践している他の自治体の事例も併せて周知する。

④【学校】 情報活用能力を系統的に育成するための、カリキュラム・マネジメントの推進

本年度の取組状況	令和5年度の取組の方向性
<ul style="list-style-type: none">・「市全体の情報活用能力の意識調査」と「同中学校区内での共通理解」の2つの要素を踏まえ情報活用能力の年間指導計画を各校で作成するように周知した。・「教育用クラウドを日常的に活用（常時家庭での活用も含む）」できる情報活用能力の年間指導計画を作成するための素材となる単元の事例の収集を仙台市GIGAスクール推進校を中心に行っている。	<ul style="list-style-type: none">・「情報活用能力の意識調査の結果」と「同中学校区内での共通理解」及び「教育用クラウドを日常的に活用（常時家庭での活用も含む）」の3つの要素を網羅したモデルカリキュラムを作成し、全校に周知する。

⑤【学校】プログラミング教育・STEAM教育・情報モラルや情報セキュリティ教育の推進

本年度の取組状況

令和5年度の取組の方向性

■事例紹介と学校現場への情報発信、プログラミング検定の実践結果と今後の展開報告

【プログラミング・STEAM教育】

- ・アーテックロボ2.0事例集の収集・発信
- ・向陽台小・中学校で実践、事例創出
- ・仙台市GIGAスクールサポートサイトに事例を掲載

【プログラミング検定】

- ・市内中学校の部活動における既存のプログラミング検定の実施。

■NETモラル教材の情報発信と仙台市の傾向分析

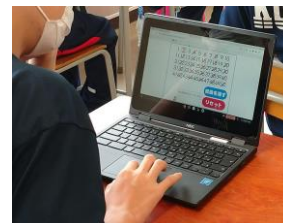
- ・市内全小中学校に対して、6月と1月ごろに情報モラルのCBT調査を実施した。6月の市の傾向分析については、各学校へ周知した。

【市傾向分析結果概要（6月）】

- ①学年が上がるにしたがって、全国の平均を下回り、その差も広がっている。
- ②小学校低学年の傾向「インターネットやゲーム等を、やりすぎないようにすることへの意識」や「個人情報をもやみに掲載しないことへの意識」が低い。
- ③小学校中学年の傾向「個人情報をもやみに掲載しないことへの意識」や「インターネットを扱うマナーの意識」が低い。
- ④小学校高学年の傾向「著作物の利用に関する知識」や「写真等の投稿による危険性の知識」が不足している。
- ⑤中学生の傾向「著作権を守るための知識」や「写真等の投稿による危険性の知識」が不足している。

- ・市内全学校において、系統的（校種・学年・教科等横断的）なプログラミング教育の事例創出及び仙台市GIGAスクールサポートサイト等における情報発信を行う。
- ・全小中学校において、全学年及び全教科等でプログラミング教育（プログラミング検定含む）やSTEAM教育の事例創出及び仙台市GIGAスクールサポートサイト等における情報発信を行う。

- ・令和4年度のCBT調査をさらに分析し、実態把握に基づいた「情報活用能力の年間指導計画」を作成する。
- ・各校に、児童生徒の情報モラル（デジタル社会に積極的に参画する態度を含む）の育成のための実践事例を紹介する。



⑥【学校】指導者用・学習者用デジタル教科書の利活用

本年度の取組状況

【指導者用デジタル教科書】

- ・市内小学校に対し各学年1教科、市内中学校（中等教育学校舎）に対し各学年2教科の指導者用デジタル教科書を整備した。
- ・学校が希望する教科のデジタル教科書を購入。

【学習者用デジタル教科書】

- ・国の事業に参加し、小5～中3までの英語の学習者用デジタル教科書を配備。一部学校では、英語以外の教科も配備した。
- ・各教科の利活用事例を収集し、年度末までに各学校に周知する。

令和5年度の取組の方向性

- ・学習者用・指導者用デジタル教科書について、効果的な利活用の情報を収集し、事例を発信をする。
- ・紙とデジタル教科書、副読本のデジタル化に関する検証を行う。

- ・学習者用デジタル教科書は、令和5年度も国の事業に参加し、小5～中3までの英語の学習者用デジタル教科書を配備する。また、国の実証研究にも参加し、利活用事例を収集する。

⑦【教育委員会】児童生徒の情報活用能力の実態把握と学校現場に有用な情報の積極的な発信

本年度の取組状況	令和5年度の取組の方向性
<ul style="list-style-type: none">・「仙台版情報活用能力学習目標リスト」を基にウェブ上で回答できる「情報活用能力意識調査」を作成。・6月に仙台市GIGAスクール推進校の全学年に対し「情報活用能力意識調査」を先行実施。・先行実施校の取組状況のヒアリングおよび有識者の助言を受け、対象学年および設問内容について検討し、10月に市内全小中学校（中等教育学校含）の小3から中3の児童生徒に対し、「情報活用能力意識調査」を実施。・調査結果は仙台市GIGAスクールサポートサイトに掲載。	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度と同様の調査を10月に実施し、経年変化を分析する。・調査結果を仙台市GIGAスクールサポートサイトに掲載し発信する。

⑧ 【教育委員会】 デジタル教材等の利活用に関する情報発信・ICT支援員等による学校支援

本年度の取組状況	令和5年度の取組の方向性
<p>■ デジタル教材等の利活用</p> <p>【教育委員会による支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Googleアプリやロイロノート・スクール活用研修 (参加人数 約2400人) <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本研修 18回 (オンライン研修) ・ 応用研修 56校 (訪問研修) <p>【ICT支援員による支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習eポータル「まなびポケット」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員、児童生徒、保護者連絡機能のアカウント設定 ・ ブックマーク設定 ・ 校内研修 (操作、活用) ○ 授業支援クラウド「ロイロノート・スクール」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員、児童生徒のアカウント設定 ・ 校内研修 (操作、活用) <p>■ ICT支援員等による学校支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末を活用した実践事例を委託業者がまとめ、「ICT支援員等による学校支援・事例集」として作成し、11月に仙台市GIGAスクールサポートサイトに公開した。 ・ 第3回GIGAスクール推進協議会にて、「ICT支援員の支援の様子も加味した内容だとさらによい」との御意見をいただき、委託業者と協議し、次回以降はICT支援員の具体の支援が分かるような内容も追加していくことで合意した。完成した事例集は仙台市GIGAスクールサポートサイトへの掲載を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで利用してきたサイトやアプリケーションの授業での活用について、教育センターが中心となって研修を実施する。 ・ 新たに導入するアプリケーション等がある場合は、適切な内容や方法を検討し、教育指導課で研修を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校がより効果的にICT支援員を活用できるよう、支援事例集を公開していく他、ICT支援員運用マニュアルを作成して各学校に周知する等、支援を進める。

⑧ 【教育委員会】 デジタル教材等の利活用に関する情報発信・ICT支援員等による学校支援

本年度の取組状況

- **デジタルドリルの活用状況の把握と今後の方向性の検討**
 - ・ 保護者負担で導入を検討している学校に対し、仙台市立学校で導入実績のあるデジタルドリルを紹介。
 - ・ 9月に有償版デジタルドリルを導入している学校から小学校7校、中学校4校を抽出し、使用感に関するアンケートを実施。
 - ・ 有償版デジタルドリルを導入している2校で学習eポータルとの連携の実証を実施。
 - ・ 無償版デジタルドリルでは「指導者の一元管理」及び「AIによる個に応じた出題」ができず、年央で有償版を検討する学校に対し、期間限定のトライアルができるよう企業に依頼。

- **みやぎ情報活用ノートのデジタル教材化**
 - ・ みやぎ情報活用ノートの「情報モラル」と「探究スキル」に関わる2事例をデジタル化し授業事例を、仙台市GIGAスクールサポートサイトや「まなびポケット」に掲載した。
 - ・ 「探究スキル」の事例は、「個別最適な学び」や「端末、クラウドの日常利用化（授業と家庭学習等の連携）」にも活用できるような授業事例として発信する予定。

令和5年度の取組の方向性

- ・ 全ての小学校・中学校・中等教育学校前期に有償のデジタルドリルを導入する。
 - ・ デジタルドリルの利用に関する研修を実施する。
 - ・ 学習履歴の可視化による児童生徒の学習状況の把握を行うことで、個別最適な学びの実現や授業改善を推進する。
-
- ・ みやぎ情報活用ノートのデジタル化を5事例程度行い、授業事例の情報発信をする。

氏名 _____

1 すでに導入が済まない

2 なかなか価値が見えない

3 既に申し込んでいるので自分の選択が出ていない

4 選んでいる間にタイムアウト等になっている

5 自分が一緒に選んでいる授業も公開される

選んだ理由は...

⑧ 【教育委員会】 デジタル教材等の利活用に関する情報発信・ICT支援員等による学校支援

本年度の取組状況

令和5年度の取組の方向性

■副教材のデジタル化

【仙台版防災副読本】

- ・中学校のWebBook版を作成し、教育センターウェブサイトに掲載。

【わたしたちのまち仙台】

- ・わたしたちのまち仙台画像資料等のQRコード添付
- ・令和4年度版指導者の手引きを作成し、教育センターウェブサイトにてPDF版を掲載。

【小学校理科副読本仙台の自然】

- ・令和5年度版仙台の自然使い方を作成し、小学校4～6年生の活用例及び活用カリキュラムを作成し、教育センターウェブサイトにてPDF版を掲載。
- ・4分野（地学、生物、気象、天文）の指導事例の創出。

■せんだい電子図書館の利活用

【市民図書館】

- ・小中学校へ特別利用IDを発行した。
（児童生徒数の10%程度）
- ・仙台市小学校教育研究会図書館部会で研修を実施。
- ・教員向け学校訪問研修の実施（全11校）。
- ・（訪問時）教員への図書館利用カードの発行。

【教育指導課】

- ・学習eポータル「まなびポケット」へ「せんだい電子図書館」のブックマーク登録の推進。

【仙台版防災副読本】

- ・令和2年度公開の小学校のWebBook版の内容の更新作業及び公開。

【わたしたちのまち仙台】

- ・わたしたちのまち仙台画像資料等のQRコード添付素材の改訂。
- ・令和5年度版指導者の手引きを作成し、教育センターウェブサイトにてPDF版を掲載する。

【小学校理科副読本仙台の自然】

- ・令和6年度版仙台の自然使い方、小学校4～6年生の活用例及び活用カリキュラムを作成し、教育センターウェブサイトにてPDF版を掲載する。
- ・4分野（地学、生物、気象、天文）の指導事例の創出。

【市民図書館】

- ・活用促進のための広報を行う。
- ・教員向け研修会を継続して実施する。

⑨ 【教育委員会】 MEXCBTや学習eポータルを利活用できるための環境整備や情報発信

本年度の取組状況

- ・ MEXCBTは、全中学校、中等教育学校前期及び、希望する小学校等で活用可能。
- ・ 学習eポータル「まなびポケット」は、全校に配備し活用している。特に、「まなびポケット」に関しては、ICT支援員を活用しながら、様々な機能を周知した。



令和5年度の取組の方向性

- ・ 4～5月ごろを目安に「（仮称）データ活用検討会議」を組織し、MEXCBTや学習eポータル等の利活用を検討する。
※具体は、現在国の動向を見ながら検討中。

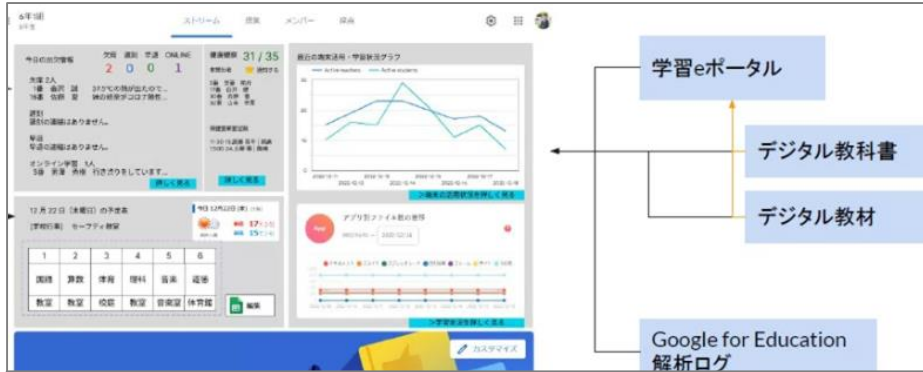


図 一元化されたダッシュボードのイメージ例